

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年7月27日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社ユーザベース

3. 認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として予測が難しい経済状況が続いている。今後、ウィズコロナ時代において、クラウドサービス導入や良質なメディアコンテンツなど、同社グループの提供サービスへのニーズは、より一層高まっていくものと認識している。

このような変化の激しい環境下において、顧客起点で、変化にスピーディに適応する経営（アジャイル経営）を広めるべく、企業の事業戦略、顧客戦略及び組織戦略を支える SaaS 製品の継続的な新規プロダクト及びアップセルプロダクトのリリースにより、SOM（現在のプロダクト価値で獲得可能な市場規模）を拡大させ、経営コンサルティングという巨大市場のクラウド化・民主化を目指す。

そして、これらの SaaS プロダクトとソーシャル経済メディア「NewsPicks」を融合させ、NewsPicks ユーザーを起点として SaaS ユーザーへの流入の増加及び知見を共有するエキスパートの増加を図ることで、様々な専門性や多様性を持った人の知見へのアクセスが容易になり、企業経営の中で生かされ、「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」というパーパスを実現することを目指す。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

計画終了年度である 2025 年 12 月期の EBITDA マージンが、基準年度である 2021 年 12 月期を 5 %ポイント以上上回ることを目標とする。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

計画終了年度（2025 年 12 月期）において、有利子負債がキャッシュフローの 10 倍以内となる予定である。また、経常収支比率は 100%以上となる予定である。

（4）事業適応の類型

成長発展事業適応

（5）計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

情報サービス業（39）

同社はデータ・コンテンツ・ナレッジをコアアセットとして、アジャイル経営（顧客起点で、変化にスピーディに適応する経営）の実現をサポートする SaaS プロダクトを提供してきた。

本計画は、「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」というパーパスの実現に向け、様々な専門性や多様性を持った人の知見へのアクセスが容易になり、企業経営の中で生かされ、誰もがビジネスを楽しめる世界に近づくために、SaaS と NewsPicks を融合すること、そして、SaaS 事業においては、SOM（現在のプロダクト価値で獲得可能な市場規模）を拡大させ、経営コンサルティングという巨大市場のクラウド化・民主化を果たし、持続的なユーザー価値の拡大、高成長を果たすための人的投資及び固定資産投資（無形）を実施するものであるため。

（6） 事業適応の具体的内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として予測が難しい経済状況が継続している。今後、ウィズコロナ時代において、クラウドサービス導入や良質なメディアコンテンツなど、当社グループの提供サービスへのニーズは、より一層高まっていくものと認識している。

このような変化の激しい環境下において、以下を実践することにより、「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」というパーパスの実現を目指す。

- ・データで意思決定を支える。
- ・コンテンツで変化を生む。
- ・人の知見を循環させる。
- ・テクノロジーで世界を変える。
- ・ビジネスを楽しむ。

パーパスを実現するために、B2B 領域（企業）の SaaS プロダクトに関しては、顧客起点で、変化にスピーディに適応する経営（アジャイル経営）を広め、経営コンサルティングという巨大市場のクラウド化、民主化を目指しており、B2C 領域（個人）の NewsPicks に関しては、ビジネスを楽しみ、行動する人を増やすことを目指している。

このような中で、様々な専門性や多様性を持った人の知見へのアクセスが容易になり、企業経営の中で生かされ、誰もがビジネスを楽しめる世界に近づくために、SaaS と NewsPicks を融合する。

具体的には、SaaS プロダクトとソーシャル経済メディア「NewsPicks」を融合させ、NewsPicks ユーザーを増やし、そこから多くの SaaS ユーザーを生む構造を作り、ユーザー継続率の向上等を図るため、各種 SaaS プロダクトと NewsPicks のユーザーID を共通化させていく。既に「INITIAL」及び「FORCAS Sales」と「NewsPicks」のユーザーID 統合は完了しているため、「SPEEDA」及び「FORCAS」と「NewsPicks」のユーザーID を統合し、ユーザーID における SaaS と NewsPicks の融合を完了させる。これにより、「人の知見」という重要な経済情報を蓄積し、全サービスで活用し、長期的な競争優位性を実現するための経済情報プラットフォームの構築を実現していく。

また、当社の運営する SaaS 事業における TAM（Total Addressable Market）は約 1.2 兆円

であり、当社グループの SaaS プロダクトが今のプロダクトで十分にその価値を届けられる市場規模である SOM は現在 SaaS 事業全体で約 1,125 億円と考えている。

SOM を拡大するため、以下の取り組みを行っていく。

なお、当社が運営する SaaS プロダクトは SPEEDA、INITIAL、FORCAS であり、AD/NP は当社の子会社が運営するプロダクトであるため、本件の取り組みからは除外されている。

①SOM を拡大するための新規及びアップセルプロダクトへの投資

- ・SPEEDA:最新の経営情報を共有する情報環境の構築、競争環境分析の自動化、「SPEEDA R&D プラン」のようなアップセルプロダクトの開発及び「NewsPicks」「EXPERT RESEACH」との融合等

- ・FORCAS:ターゲットニング機能や AI/ML による企業分析の進化等

- ・INITIAL:ステータス管理、レポート機能、SPEEDA 及び SPEEDA EDGE との連携等

②当社が提供する SaaS プロダクトの持続的なユーザー価値の拡大に資する共通データへの投資

これらの投資により、持続的なユーザー価値の拡大、高成長を果たし、「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」というパーパスを実現していく。

また、こうした取り組みの結果として、2025 年 12 月期における新サービスの売上高が株式会社ユーザベース全体の売上高の 1%以上となることを目指す。

- ・産業競争力強化法第 21 条の 28 第 1 項の規定に基づく経済社会情勢の著しい変化に対応して行うものとして主務大臣が定める基準への適合：有

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

2022 年 7 月 27 日～2025 年 12 月 31 日